

RPPC メールマガジン 第 843 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 10 月 7 日）

■事務局からのお知らせ

1) 令和 2 年度 第 1 回 循環資源利用促進部会

日時：10 月 8 日（木）14:00～16:00

会場：みなと総合研究財団 3 階 会議室

開催方法：会場参加/Web（Webex）

2) 令和 2 年度 第 1 回 国際資源循環部会

※会場が変わりましたのでご注意ください。

日時：10 月 9 日（金）10:00～12:00

会場：スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ駅前店（旧：新虎ノ門店） 4 階 B ホール

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 6 - 2 第二秋山ビル 4 階

（みなと総合研究財団の隣のビルです）

開催方法：会場参加/Web（Webex）

<https://www.spaceuse.co.jp/toranomon/shintoranomon/index.html>

3) 令和 2 年度 リサイクルポートセミナー

日時：11 月 24 日（火）14:00～17:00

会場：第一ホテル東京シーフォート・YouTube Live 配信併用

（専用アカウント発行）

令和 2 年度テーマ：「with コロナ・CO2 削減時代に リサイクルイノベーション」

※添付のプログラムをご確認ください。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.自民党港湾議連、総会開催。整備・振興を決議、コロナ対策等

自由民主党港湾議員連盟（竹下亘会長）は 9 月 29 日、党本部において総会を開催し、令和 3 年度所要予算の満額確保や税制特例など港湾の整備・振興に関する決議を行い、大西国

土交通副大臣に決議書を手交した。

総会で竹下会長は「港湾予算は金額そのものが絶対的に少なすぎる。桁が一桁違うのでは、と言えるほどだ。予算をしっかりと確保し、海洋国日本を支えていかなければならない。強い決意で予算確保、政策実現に向け皆さんと一緒に汗をかいて参りたい」、と挨拶した。

また大西副大臣は「港湾議連の皆様のご支援を得て港湾予算は着実に増加を辿ってきているが、貿易立国の我が国にとって港は命であり、竹下会長の言われるように予算はまだまだ不足している。減災、防災、コロナ対策など課題は山積しているが、港湾予算の拡充に向け全力で頑張る参りたい」とする挨拶があった。

2.クルーズ、感染症対策等中間まとめ。国内トライアル実施へ

国土交通省海事局、港湾局はこのほど、クルーズ船の利用者、寄港する港湾の関係者等の安全・安心の確保に向け、感染症、危機管理等の専門家からの意見を踏まえ、「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ」を作成し、公表した。同公表に合わせ日本外航客船協会が「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（初版）」、日本港湾協会が「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン（初版）」を策定している。

国交省の中間とりまとめでは、我が国の乗船者感染事案を検証し、再発防止に向け、船側に求められる措置、受入港湾側の措置、国土交通省に求められる措置を整理。

3.徳山下松港、国際バルク戦港整備進む。渡橋部ジャケットを据付

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所は、事業中の国際バルク戦略港湾の徳山下松港国際物流ターミナル整備事業で、下松地区（マイナス19㍍岸壁延長390㍍）の整備を進捗させており、9月24日には同岸壁関連では初めてとなる渡橋部のジャケットの据付工事を実施した。徳山下松港の国際物流ターミナルは令和5年度末には整備を終える予定になっており、来年度には下松地区岸壁整備で契約が残っているAブロック、Bブロック（合計4区間、延長190㍍）のジャケット築造工事の発注を予定しているほか、セカンドポートとなる徳山地区、新南陽地区の岸壁延伸についても現地工事に入っていく予定。

4.細島港でROROふ頭を再編、係留施設の基本設計

九州地方整備局宮崎港湾・空港整備事務所は、細島港のROROターミナルの再編に対応

した基本設計業務の手続きを開始している。細島港は大阪港航路と東京航路の定期RORO航路が開けているが、取扱貨物の増加によりふ頭用地が限界を迎えている。このため宮崎県ではふ頭用地の拡張を含むROROf頭の再編を検討しており、関係者間で検討を進めている。方向がまとまれば港湾計画の一部変更を行って船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭拡張を行う予定。今回の宮崎港湾・空港整備事務所の係留施設設計業務は、こうした動きを受けて将来事業が具体化した際の基礎データとして活かす。細島港ではRORO貨物が増えているほか、やドライバー不足などから、RORO船による海上輸送貨物の需要が高まっている。

5.横浜港第3回定例会で6件契約、新本牧ふ頭整備。護岸Aと中仕切堤も手続中

横浜市港湾局は、横浜港新本牧ふ頭の整備で、外周護岸B-1のケーソン据付や外周護岸B-2及び外周護岸Aの地盤改良に着工していく。9月の市議会第3回定例会で6件の請負契約が議決された。また、外周護岸Aの基礎捨石や中仕切堤の手続きも進めている。

市は新本牧ふ頭のうちロジスティクス拠点として整備する第1期地区の面積約38㍍を昨年度に事業化した。

同地区では航路側の外周護岸B-1(約500㍍)と、その延長線上の途中から南側へ折れて直轄の護岸に繋がる外周護岸B-2(400㍍強)、航路と反対側の外周護岸A(約350㍍)、中仕切堤(約650㍍)を整備する。護岸B-1と中仕切堤、既設護岸に囲まれた三角形の区域にリニア中央新幹線の発生土砂を早期に受入れる。

外周護岸B-1は既設護岸への取付部約50㍍が栈橋構造だが、それ以外は本体をハイブリッドスリットケーソンとし、計19函で構成している。

※港湾空港タイムス10月5日号より編集

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください